

国語科 学習指導案

高石市立東羽衣小学校
指導者

1. 日時 2025年 11月 28日(金)第5時限
2. 学年・組 第5学年2組(38名)
3. 単元名 「固有種が教えてくれること/自然環境を守るために」(光村図書 5年)

4. 単元目標

資料を活用しながら論を進めることの意味や目的を理解し、自分なりの問題意識をもって説得力のある文章を表現できるように説明文を読む際から筆者の視点に寄り添いながら自分ごととして文章を読み解く力をつける。また、統計資料の読み取りを通して、伝えたいことをより詳しく伝えるために必要な資料を正しい理由で選択する力を養い、書きたいことに応じて用いることでより説得力のある意見文を作成できるようにする。

【知識及び技能】

- ・原因と結果など情報と情報の関係について理解することができる。(知(2)ア)
- ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。(知(3)オ)

【思考力・判断力・表現力等】

- ・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
(思B(1)エ)
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思C(1)ウ)
- ・事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思C(1)ア)

【学びに向かう力・人間性等】

- ・粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして統計資料を用いた意見文を書こうとしている。

5. 教材観

本単元は、「固有種が教えてくれること」と「自然環境を守るために」で構成されている教材である。「固有種が教えてくれること」では「読むこと」で資料の効果や筆者の論の進め方に着目して読み進められる説明的な文章教材である。また、「自然環境を守るために」は、「書くこと」の学習に活かし、自分の考えに合った統計資料を用いて、グラフや表などと対応させながら文章を書く。その際、それらの統計資料は自分の考えの根拠となるように選び、活用しながらまとめ、相手に伝わりやすい文章作りへと活かしていく。

6. 児童観

本学級の児童は、「みんなが使いやすいデザイン」で情報と情報との関係づけのしかたを理解したり、「書くこ

と」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類づけたり関係づけたりして、表現することを学習してきた。しかし、自分の伝えたいことに当てはまつた情報の取捨選択をすることや考えを相手に伝わりやすく表現することに課題がある。そのため、本単元では根拠をもって必要な情報を選び、自分の考えを表現する際に活用できるように活動を促したい。

7. 指導観

本単元では、筆者の論の展開や工夫をもとに、自然環境を守るために自分は何ができるかについての意見文を作成する。本単元を通して、統計資料等の情報が自分の考えにあったものかを粘り強く取捨選択し、活用することで自分の考えを確かなものにしていく。そして、説得力のある意見文が作れるようにしていくために「自分の考えを持ち、整理する」ときには、思考ツールの活用を通して考えをまとめていく。「固有種が教えてくれること」の筆者の論の展開の仕方や工夫をもとに、相手に伝わりやすい文章作りを意識させて意見文を書かせてていきたい。

8. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。・選んだ環境問題に対応した統計資料を選んでいる。・選んだ統計資料が自分の伝えたいことについて適切な資料であるかを友達と伝え合い、判断する。 <p>【知・技】</p>	<ul style="list-style-type: none">・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。・「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。	<ul style="list-style-type: none">・粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして統計資料を用いた意見文を書こうとしている。

9. 単元の指導と評価の計画(全12時間)

時	学習内容	主な評価規準 ◎指導に生かす評価○記録に残す評価
第1時	・単元名を確認し、活動の見通しを持ち、学習課題を立てる。	○文章と資料の関係に注意しながら読み、自分なりの感想をもっている。(ノート) ◎「読むこと」で学習したことをいかして、自分の考えを書くという学習の流れを捉えようとしている。【主】
第2時	・本文を「初め」、「中」、「終わり」に分け、筆者の考えを確かめる。	○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 【知・技】 ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。【思・判・表】 (ノート)
第3時	・本文の接続語や指示語などに注目しながら、文章の大体を捉える。	○接続語や指示語に注目し、どの文章が関連づいているのかを理解している。【知・技】 ○構成や段落の関連を捉え、筆者の考えを捉える。【知・技】 (全文プリント)
第4・5時	・説明文の家を作成し、文章全体の構成を捉え、要旨を捉える。	○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 【知・技】 ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。【思・判・表】 (説明文の家)
第6時	・文章と資料を結び付け、その効果を考えたり、論の進め方を捉えたりする。	○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。【思・判・表】(ノート) ◎粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、論の進め方を考えようとしている。【主】
第7時	・「固有種が教えてくれること」の学習や総合科での自然環境についての学習を通して、関心のある環境問題を選び、その問題についての自分の考えを持つ。 【思考ツール】・クラゲチャート ・スプレッドシート	○自分が特に解決したいと思う環境問題を選び、学習の見通しをもって取り組もうとしている。【主】 (ワークシート)

第8時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えに合った統計資料を選ぶ。ペアでその資料の題名や内容を確認し合い、伝えたいことを伝えるうえで適切な資料かを話し合う。 その資料がふさわしい理由を考え、書き表す。 <p>【情:I-C-3】 【使用するICT】・タブレット端末)</p>	<p>◎選んだ統計資料が自分の伝えたいことについて適切な資料であるかを友達と伝え合い、判断する。【知・技】</p> <p>○「書くこと」において、図表やグラフを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。【思・判・表】</p> <p>(</p>
第9時	<ul style="list-style-type: none"> 「初め」「中」「終わり」の構成で、自分の書きたいことを整理し、下書きをする。 <p>【思考ツール】・ステップチャート</p>	<p>○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。【思・判・表】(ノート)</p>
第10時	<ul style="list-style-type: none"> 自分が考えた構成をもとに資料を活用し、原稿用紙に文章を書く。 	<p>○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。【思・判・表】(原稿用紙)</p> <p>◎粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして統計資料を用いた意見文を書こうとしている。【主】</p>
第12時	<ul style="list-style-type: none"> 書き上げた文章を読み合い、よさを伝え合う。 	<p>◎図表の用い方などの観点で、互いの文章のよいところを伝え合っている。【主】</p> <p>○単元全体の学習を振り返ろうとしている。【主】(ワークシート)</p>

10. 本時の展開

(1) 本時の目標

自分の関心のある環境問題について調べ、正しい統計資料の読み取りを行い、自分の伝えたいことに説得力を持たせられる統計資料であるかを友達との交流を通して判断できる。また、その統計資料からわかったことや持つことができた自分の考えを文章で表現することができる。

(2) 本時の評価規準

- 選んだ統計資料が自分の伝えたいことについて適切な資料であるかを友達と伝え合い、判断する。【知・技】
- 「書くこと」において、図表やグラフを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。【思・判・表】

(3) 情報活用能力【情:I-C-3】

- 複数の表やグラフを用いて、得た情報について論理的に考察し、新たな意味を見いだせる。
- 原因と結果など情報と情報の関係を捉えられる。

(4) 本時の判断基準

十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する子どもへの支援(C)
調べた統計資料から必要な情報を正確に読み取り、調べたことが自分の考えに根拠を持たせるものであるという理由を伝えようとしている。	統計資料から必要な情報を正確に読み取り、調べたことが自分の考えに根拠を持たせるものであるという理由をまとめている。	統計資料を正確に読み取れるように、助言を行う。

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容	指導上の留意点 ☆支援を要する児童への手立て	評価規準 ◎指導に生かす評価○記録に残す評価
導入(3分)	1.前時までの振り返りをする。	・前時までに作成したクラゲチャートをもとに、自分の関心のある環境問題を確認する。	
展開(37分)	<p style="text-align: center;">適切な統計資料を選び、その理由も考えよう。</p> <p>【個】 2.事前に調べた自分が関心のある環境問題に関する統計資料から1つ選択する。</p> <p>【情】 3.統計資料の見極め方を考える。</p> <p>【個】 4.選んだ統計資料の確認をする。</p> <p>【協】 5.友達とペア(班)で話し合い、選んだ統計資料が自分の考えに適したものであるかを確認し合う。</p> <p>【個】 6.その統計資料を選んだ理由を書く。【情】</p>	<p>・統計資料が自分の考えに適切なものか見極める見本をもとに考え、正しい情報にたどりつくまでのイメージを持たせる。</p> <p>☆統計資料を正確に読み取れるように、助言を行う。</p> <p>・改めて調べ直したい児童がいた場合は時間を設け、調べ直させる。</p> <p>・自分が伝えたいものを分かりやすくするための統計資料にふさわしいものかを確認させる。</p> <p>☆困っている児童には同じテーマで調べている友達のところへ聞きに行くことも促す。</p>	<p>◎選んだ統計資料が自分の伝えたいことについて適切な資料であるかを友達と伝え合い、判断する。【知・技】 (ロイロノート)</p> <p>○「書くこと」において、図表やグラフを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。【思・判・表】 (ロイロノート)</p>

まとめ (5分)	【協】 7.本時の学習を振り返り、できた文章を伝え合う。	・理由が書き切れていないくとも、友達の文章を聞いたりすることで自分の考えを持てるようになる。	
-------------	---------------------------------	--	--